

9 がっひかりごう

令和5年9月1日 輝保育園

カレンダーでは朝晩が過ごしやすくなる時期ですが、連日、猛暑日が続いています。運動会の練習が始まり、ひまわり組さんから太鼓の音が聞こえてきます。その音を聞いたすみれ組の子が廊下に出て、一緒に「ドーン、ドーン、ドン、ドン、ドン！」と楽しそうに口ずさんでいます。「先生、太鼓見たい！」と言う子どもたちの表情に、通常の運動会を開催できる喜びを感じます。



【【 敬老の日 】】

敬老の日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」といった意味が込められています。

おじいちゃんおばあちゃんにも、今の子ども達と同じくらいの頃がありました。

その頃は「どんな遊びをしていたの？」など、この機会に、おじいちゃん、おばあちゃんに昔の話を聞いてみるのもおもしろいでしょう。

★ 靴のサイズ ★

今年度は、通常通りの運動会を予定しており、少しずつ練習が始まりました。

これから、気温をみながら戸外での練習がスタートします。

又、外遊びも盛んになります。

大きすぎたり小さかったりすると怪我につながります。

また、半袖から長袖へと着用するものが変わる時期ですので、衣服への記名や、衣服サイズの確認等も再度お願いします。



= 9月の行事予定 =

5日(火) 避難訓練

16日(土) 秋祭り

22日(金) 誕生会・身体測定

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

コミュニケーション (ほめ方)

4. タイミングを逃さずにほめる
子どもの言動をほめる時は、できるだけその場でほめることが大切です。
これは、叱る時と同様で、タイミングを逃すことで効果が大きく違ってきます。
タイミング良くほめることが重要です。
5. 他の子どもと比較してほめることはできるだけ控える

「～さんより上手にできたね！」のように競争心を刺激したほめ方をすると、子どもは喜び頑張ります。

しかし、他の子どもとの比較を過度にやると順位にこだわった頑張りになり、必ずしも自尊感情や意欲そのものの向上にはつながらないこととなります。

当然ながら、「～さんよりだめだったね」などというのは好ましくありません。



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

== ナース・レポート ==

【冷却ジェルシートにはクーリング効果があるのか？】

子どもが発熱時に熱さまシートや冷えピタをおでこに貼付している姿を見かけます。

そのような冷却シートには解熱効果はあるのでしょうか？

結論からお話しすると、体温を下げる(解熱する)効果はありません。

冷却ジェルシートによる冷却の原理は、ジェルに含まれている水分が蒸発することによる「気化熱」により貼付部の温度が局所的に下がるというものです。

これは貼付部の局所的な温度であり、体温ではありません。

局所が冷えると「気持ちが良い」と感じることで副交感神経が優位になり、苦痛の緩和につながる効果があると言えます。

つまり、冷却ジェルシートは体温を下げる目的ではなく、苦痛緩和目的で使用することが効果的であると考えます。

日本医事新報社 看護学より抜粋

冷えピタシートなどはひんやりして気持ちがいいものですが、残念ながら、熱を下げたり、腫れをひかせたりする効果はありません。

過去には、ずれた冷えピタが口を覆ってしまっ赤ちゃんが窒息する事故もありました。

使用する際は注意しましょう。

こどもものようす

たんぽぽぐみ
0才児



みんなが楽しみにしている食事の時間。おやつや給食の時には手掴みで食べたり、スプーンで食べてみたりと意欲的な姿が見られます。手掴み食には食材の触感を知り、食べ物への関心につながります。自分の意思で食べようと、正しい位置へ手を伸ばし、手に取り口へ運ぶことで目と手と口が連動する動作を育てていきます。この経験をたくさん積むことで食べ物の性質を知り、自分に適した一口量を知り、食べる意欲へ繋がっていきます。手掴み食べをたくさん経験する事は、スプーンやお箸といった食具を使う上で大切な経験となります。大変な時期ではありますがたくさんの経験を重ねていけるように見守ってあげてください。

たんぽぽぐみ
1才児



水遊び前後の着替えを自分でしようとする子が増えてきました。上手いかわずに、泣いてしまったり、「出来ない！」と保育者に訴えたり、黙々とチャレンジしたり、それぞれのやり方で頑張っています。水遊びしたい気持ちから、出来る事が少しずつ増えています。1才半前後の子たちの中でも、自分でしたい気持ちが強まり、大人の手を借りずに一人でやろうとする子も出てきました。この時期が、身辺自立の獲得、上達のチャンスです。時間はかかりますが、見守ったり、さりげなく手伝ったりする事で、自分で出来たという自信に繋がります。その反面、甘えて「手伝って」と言う事もあります。その時は、思いを受け止め、一緒にしています。家庭でも、見守ったり、さりげなく手伝ったりしながら、出来た時に一緒に喜んであげてください。

すみれぐみ
2才児



生活の中で、友だちや保育士との言葉のやり取りを楽しんでいます。悲しい気持ちや、嬉しい気持ちと、様々な自分の思いを言葉にして伝えることも上手になってきました。最近では、「一緒に遊ぼう！」という言葉がよく聞かれるようになり、友だちと関わりながら遊ぶ姿も出てきました。自分の思いが、相手に伝わる喜びを感じる一方で、うまく伝わらなかったり、思い通りにならないもどかしさから、手が出てしまうこともまだまだあります。保育士が仲立ちとなりながら、言葉での伝え方、お互いの思いを代弁することで、他者の存在や思いに気づき、受け入れることができるようになってきました。自己主張しながらも、譲り合いや、順番を守ることなど社会性を身に付け、「一緒に楽しい！」と感じることが出来る経験を積み重ねていきます。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



先日は、お忙しい中、保育参観にご協力をいただき、ありがとうございました。お友達の参観がある度「明日、ママ来る？」と、自分の番がくる事を心待ちにしていました。夫々が迎えた参観当日は、とても嬉しそうでした。身の回りの事を自分で行う姿や友達と遊ぶ姿、保育士の話を聞きながら行動する姿など、園生活の様子をご覧いただいた事で、成長や課題の共有へと繋がります。私達保育士にとっても大変貴重な時間となりました。食事の姿勢やお箸に関心をもちた保護者の方も多かったようで、子ども達に嬉しい変化がありました。姿勢を意識する姿やお箸と指の位置を確認する姿が増え、なかには、1週間程で正しくお箸を使いこなせるようになった子も居て、驚いています。「今度は運動会に来てもらおうね！」と、次回を楽しみにしています。

ばらぐみ
4才児



8月のプール活動では、体を浮かせることに挑戦しました。始めは、足をそろえて浮かせ、手をつきながら進みます。勢いがついたら手を離し、ぶかぶかと浮きます。顔や耳を水につけて、さらに手も離すこととなりますが、子どもたちはどんどん挑戦していました。「ぼく・わたしもできたよ！」と、自信に繋がったようでした。毎日プールセットを準備していただきありがとうございました。9月からは、運動会の練習を進めていきます。練習の中で時にはぶつかりながらも、友達と励まし合い一緒に乗り越えていくという経験を重ねられるよう、関わっていきます。その中で、より相手の思いや考えに触れ、相手を思いやる心が育つことを願っています。まだまだ暑い日が続きます。水分補給や汗を拭くことの大切さを子どもたちと再確認していきます。

ひまわりぐみ
5才児



プール活動をとても楽しみにしていて「今日、プールする？」と毎日尋ねてきました。得意な子は手本になって「すごい！」「上手！」と認められたことで意欲が高まり、色んなことに挑戦してどんどん上達していきました。水が苦手な子も、頑張って自分ができることをやってみようとし、徐々に顔を浸けられるようになるなどできることが増えていきました。友だちの頑張る姿が刺激となりやる気や自信に繋がりました。一方、鼓隊は全員で合わせて叩き始めました。初めは音楽とずれていましたが、音楽や友だちに合わせることを意識することの大切さに気づき、かなりみんなで合わせられるようになってきました。これから隊形移動に取り組みます。9月はルールのある遊びや本格的に始まる運動会への取り組みを通して、さらに協同性や道徳性を育てていきます。